

日本語教育コーディネーター【地域日本語教育コーディネーター】研修

実施機関：日本語教育機関，地方公共団体等

想定単位時間数：30単位時間 ※1単位時間は45分以上とする。

教育方法：集中的に実施する研修のほか，OJTを含め，組織的に複数年にわたって研修を行う場合，集合研修を複数回に分けて行う場合なども想定される。また，事例研究，問題解決学習など，主体的・協働的に学ぶ機会を取り入れることが求められる。

教育内容	単位時間数	科目名（例）
① 在留外国人施策・入国管理制度・教育行政と，地域における外国人の出身国の最新の動向の把握 ② 日本語教育に関わる国及び地方公共団体の施策 ③ 在留外国人に関連する法制度，行政サービス等の把握・整理	2～8	(1) 在留外国人と日本語教育
⑧ 組織マネジメント ・コーディネーターの役割（コーディネーター論・リーダーシップ論） ・地域日本語教育に関わる人材や関係機関の把握とネットワーキング ・コミュニティーデザイン ・ファシリテーション	2～12	(2) 地域日本語教育の体制整備に向けたコーディネーターの役割
⑤ 日本語教育人材に対する研修の企画・立案 ・人材育成の考え方や手法	4～12	(3) 日本語教育に関わる人材の育成
⑥ 活動と広報 ・情報の発信・公開 ・個人情報の保護・管理 ・著作権 ・地域日本語教育に関する調査	2～8	(4) 活動と情報管理
⑦ 事例研究 ・問題解決能力 ・現状把握から課題設定，課題解決に向けた方略の検討 ④ 地域日本語教育のプログラムデザイン ・課題設定からプログラムの策定・実施・点検・評価・改善 ・内省（振り返り）	10～20	(5) 地域日本語教育のプログラムデザイン
30単位時間		

（備考1）関連ページ：p.25表6「地域日本語教育コーディネーターに求められる資質・能力」，p.49表14「地域日本語教育コーディネーター研修における教育内容」

（備考2）全科目の下限の単位時間数を合計すると20単位時間となる。30単位時間までの10単位時間分は，単位時間数の幅を生かすことにより，各機関・団体における特色ある教育課程を編成することが可能である。